

ヘルスケアミーティング 2024 1 日目のメインテーマは歯周基本治療

千草隆治 (コアメンバー)

みなさん、最近ヘルスケアミーティング (以下 HCM) に参加していますか? HCM とは年に一度の当学会のシンポジウムです。毎回参加される人、興味があるテーマのときは参加される人、最近はあまり参加されていない人、ニューズレターは読むし、地方会には出るけど一度も HCM に参加したことがない人などさまざまでしょう。参加している人は満足して帰路についていますか? 参加したことがない人はその理由は何ですか?

ちょっと昔話から

少しだけ昔話を。私は 1998 年のヘルスケア歯科研究会発足集会から参加している、いわゆる 98 年組です。もちろん当時は普通の会員で、福岡からスタッフを連れて参加していました。誰に紹介されたわけでもなく、雑誌に掲載された症例報告を目にしてヘルスケア歯科診療に魅了され勝手に入会しました。

会員名簿では九州の先生はたくさんいたし、顔見知りの先生も何人もいましたが、HCM (当時はシンポジウム) で会ったことはまったくありませんでした。基本的に人見知りなので、会場で知り合いをつくることもできませんでした。それでも会場にいる見知らぬ大勢の人たちみんながヘルスケア歯科診療を正しいと思い、目指しているのだなと思うとワクワクしたものでした。そして帰り道では、帰ったら何を始めようか、アレをやれば本当にあなれるのか…など、細い目をキラキラさせながら同行したスタッフと熱く語り合ったものでした。月日は過ぎ、いつの間になぜか HCM を企画する側になってしまったからは、HCM 後は、参加者は満足しているのかなあ、とか、みんなが聞きたいこと、イヤ、みんなが必要とするものはなんだろうかと考えることが増えました。

ワクワクするヘルスケアミーティング!

そして今年、今年に参加したみなさんがワクワク、キラキラできる HCM になります。その根拠は、発表者の面々もそうですが、なによりテーマです。歯周基本治療はヘルスケア歯科診療を行ううえで日常的な診療行為であり、新人もベテランも普通に行っている医療行為です。新人は一人前になるにはどうすれば? ベテランはもっと高みにいくにはどうする? そう、基本がまず重要でしかも基本がなくては先に進めないのです。歯周基本治療はヘルスケア歯科診療の出発点でもあり着地点でもあるのです。「初期・中等度の歯周炎を治癒に導き管理する」というヘルスケア歯科診療の目標の中の「治癒に導く」と「管理する」の両方に必要不可欠なスキルが歯周基本治療なのです。

さらに、このスキルを極めることで重度歯周炎にも対応できる可能性がみえてきます。もちろん、歯周外科や再生療法も必要に応じて行うことはいうまでもありません。今回このテーマの基調講演として登壇いただくのは藤木省三さんです。HCM では久しぶりの講演ですが、大西歯科での今までの経験をあますことなくお話しいただくとともに、各論と症例を発表していただく布陣も大西歯科メソッドの実行者ばかりです。さあ、この機会に一緒に学びましょう。とくに、これから取り組もうと考えている方には絶好のチャンスです。

考えるきっかけとなるヘルスケアミーティング!

歯周基本治療の大切さもヘルスケア歯科診療のことも全部わかっているけど実行に移せない、あるいは実行したけどイマイチうまくいかないという方、何が必要なのでしょう? それは、自分たちで考えて納得して実行するという事ではないでしょうか。個々人だけではなく診療室全体で考え、それを共有したうえで方向性を決めて実行し、新たな問題が発生したときやステップアップの時期がやってきたときには、診療室全体で考えて方向を決めるということ、繰り返してこそ目標に近づけ、目標を達成できるのではないのでしょうか。

今回の HCM 2024 1 日目の最後には、参加者みんなで考える時間を設けました。基調講演をはじめとする前半の講演

2024.4.19

は参加者みんなで考えるためのきっかけです。この時間が、診療室でのスタッフ全員で考えるヒントとなることが、今年の企画の目標です。そんなことを楽しみに、ぜひ会場に足を運んでみてください。

HCM は私たち会員がヘルスケア歯科診療に対するモチベーションを維持向上するためのメンテナンスのようなものだと私は思っています。定期的に通ってください。そしてみんなで考えて決めたことを実行に移してください。1年間頑張った結果を来年持ち寄ってもう一度みんなで考えましょう。来年のメインテーマも引き続き歯周治療を予定しています。繰り返しますが、今年はきっかけづくりです。立ち位置はそれぞれですが、みんなで一緒に高みを目指してスタートしましょう。